

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

会長 荒井信弘
幹事 中村直弘
会報 佐藤陽二

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日：毎週木曜日 12 : 30~13 : 30



2018年 7月 26日 第2158回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

それぞこそロータリー

【ゲストビジター紹介】

第8グループガバナー補佐 大熊 進 様
ガバナー補佐幹事 水町 俊介 様

台中區扶輪社
ディーン君
ハンス君
ブライアン君
サマー君
ショーン君



【会長あいさつ】

荒井信宏会長



皆様、こんにちは。本日は、台湾からお客様がいらっしゃるのので、台湾についてお話しします。

私自身、ロータリーの関係で3回、プライベートで1回の計4回、台湾に行っておりませんが、赤松直前会長はもとより他の会員に比べて台湾についての知識が乏しいと実感しておりました。今回、少し勉強して見ましたのでお話ししたいと思います。データには古いものがありますが、ご容赦下さい。

台湾の面積は36,179km²、日本の約10分の1で、九州よりもやや小さい程度です。

人口は2008年に2300万人を突破しました。台湾最大の都市台北は約260万人を数え、全人口の約1割を占めています。南部最大の都市高雄は約150万人、その他、姉妹クラブのある台中も100万都市です。

また、日本との人的交流が盛んで、台湾を訪れる日本人渡航者は2015年度実績で約163万人、そして台湾から日本を訪れる渡航者は2015年度、約368万人です。全人口比で6人に1人が年に一度、日本を体験しているのです。

次に台湾の言葉ですが、台湾は複合民族国家で族群ごとに独自の言葉があり、複数の言葉が混じり合った状態になっているとこのことです。台湾住民の圧倒的多数を占める漢人系住民は台湾土着の本省人と戦後中国大陸から渡って来た外省人に分かります。本省人はさらにホーロー人と客家人に分かります。現在、台湾政府が公用語とするのは北京語です。

台湾住民の大半は北京語を話せるようになっていますが、都市部を除くとやはりホーロー人の母国語はホーロー語（台湾語）であり、客家人の母国語は客家語です。また歴史的に日本と接点を持たなかった外省人は別として、ホーロー人と客家人は生活言語の中に単語レベルの日本語が定着していることが多いようです。

ここで、「台湾の言葉となった日本語」をいくつかご紹介いたします。

①現地で使われている単語 ②該当する日本語 ③言語の順番です。

①アタマコンクリ ②頭がかたい ③台湾語他 頭が固くて融通が利かないという意味

①ウロン ②うどん ③台湾語他 うどんのことで、烏龍茶とは全く関係がない。

①オバサン、オジサン ②おばさん、おじさん ③台湾語 頻繁に耳にする言葉である程度の敬意と親しみが込められている。

①カラオケ ②カラオケ ③台湾語他 日本語起源の単語の中で、もっとも定着している存在

①カワイイ ②かわいい ③台湾語他 比較的最近流行し、定着した言葉。日本語を常用しない若い世代がよく用いる。

①キモ ②気持ち ③台湾語 「気持ち」という言葉が起源の台湾製日本語。

①バカヤロ ②馬鹿野郎 ③台湾語他 中高年世代によく見られる。親や親戚が使っているのを見て、この単語だけは知っているという人もいる。意味が強いので軽々しく口にするのは禁物。

【幹事報告】

中村直弘幹事



【クラブ】

- 来週8月2日(木)11:00から理事会を行いますので、議題がある方は8月1日(水)AMまでに資料をお送りください。

【RI第2770地区】

- 管理運営部門よりRIパート1の案内が届いております。大宮ソニックシティで、9月7日(金)午前9時から受付、9時半に点鐘です。
- 会員増強維持部門より「第1回1000日会員の集い」の案内が届いております。パレスホテル大宮で、9月22日(土)午後5時半から受付、6時に点鐘です。入会3年未満の会員さんが対象となっています。
- 先週もご案内しましたが、西日本豪雨災害義捐金のお願いが届いております。会員一人につき1,000円以上のお気持ちを頂戴できればと思います。8/2(木)の例会終了後、地区へ振り込みますので、ご協力頂けますようお願い申し上げます。
- 先週もご案内しましたが、地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペが開催されます。10月15日(月)、プレステージカントリークラブ、登録料5,000円、プレー費12,000円(食事、キャディーフィ込、税別)。

【委員会報告】

- 会場運営委員会・・・例会終了後、委員会を開催します。
- 国際奉仕委員会・・・昨日、台湾からのお子さんが来日しまして、本日の例会に出席をして頂きました。赤松直前会長の奥様が通訳を引き受けてくださったこと、この場を借りて御礼申し上げます。また、ホストファミリー

を引き受けてくださった、小林光蔵副委員長、中島委員にも厚く御礼申し上げます。本日はレイクタウンのBBQベースでウェルカムパーティを開催しますので、大勢の皆さままでお迎えしましょう。

- 親睦委員会・・・9月27日夜間例会の件で、例会終了後に委員会を開催します。

【表彰・贈呈】

米山功労者 第5回マルチプル 赤松直前会長

【クラブ総会】

前年度の決算報告について、先週の例会終了後に監査して頂きまして、小山さんから問題無いということで認めていただきました。⇒拍手を持って承認。

【セミナー報告】

■クラブ管理運営部門：中村幹事

7月7日(土)の午前中が研修リーダーセミナーで、午後から管理運営部門セミナーが行われました。

研修リーダーセミナーでご挨拶頂いたときに印象に残ったことが、2770地区の全会員のうちの多くが、入会年度が浅いという現状でした。そのため、ロータリーの基礎や知識を学ぶこと、クラブでその機会を設けることが大事だということを言われていました。他クラブの事例として、新会員のオリエンテーションや定期勉強会を実施して基礎知識の研修やロータリーの面白さを伝えること、予算や決算の見方を学び自分が払っている会費がどのように使われているかを把握していることなどが紹介されました。今年度、ロータリー情報の中島委員長が研修リーダーも受けて頂いています。昼の家庭集会も実施するという事も仰っていますので、このような勉強会を通じてよりよいクラブ運営ができればと思います。

管理運営部門セミナーでは、MyRotaryへの登録、ロータリー賞について、RIへの参加などの話がありました。特にMyRotaryの登録は強く言われていました。登録しないことで有益な情報にアクセスできなかつたり、申請に手間がかかたりするようになるかもしれませんので、まだ登録していないかたはぜひ登録だけでもお願いできればと思います。逆に使いにくい点もいくつかありましたので、それはクラブから地区へフィードバックしたいと思います。

■クラブ管理運営部門：荒井会長

冒頭の中川ガバナーからのお話で印象に残ったことをお話しします。管理運営部門は、奉仕の第一部門であるクラブ奉仕にあたります。前向きにクラブ運営を行ってください、その結果は私が全て責任を取りますという話を聞いて、クラブ活性化のためであれば思いのままやってくださいという気持ちを感じました。また、クラブ研修リーダーが重要な役割を持っているということを強調されていました。クラブ内で何かあったらクラブ研修リーダーにも相談してみてください

大貫直前ガバナーからのお話も紹介します。ロータリーをよく知ることが大切です。ロータリーをよく知ることによって有効な奉仕活動ができます。それによって地域の人に活動が知られるようになります。その結果、ロータリアンはやる

気をもってさらに活動に励みます。ますますロータリーの公共イメージが上がります。そうするとロータリーに入会したいと思う人が増えます。クラブは活性化し好循環が生まれますという話をされていました。

クラブ活性化委員長で当クラブ会員の中島委員長からのお話も勉強になりましたので紹介させていただきます。会長幹事会や地区の活動をクラブの人に報告することで、情報共有することが大事です。また、クラブの委員会報告において、予定の周知だけではなく結果を報告することも必要なのではないかという話もありました。

RIについては、今年度は1~3まで終わった方の卒業研修というものがあります。まだ受けていない方はぜひ受けてみてください。

■青少年奉仕部門：仁多見委員長

7月15日(日)、大宮ソニックシティで参加しました。インターアクトについては、8月18日に総会があります。会長、幹事、私の3人で参加してきます。

ローターアクトについては、来年の2月11日に総会がありますので都合のつくかたは参加してみてください。地区からはローターアクトクラブをつくるように推奨されていますので、学生だけでなく会社の社員も含めて検討してみてください。という話をされていました。

RYLAについては8月から案内がある予定ですので興味のある方はご参加ください。

青少年交換については、今年は私の娘も含めて18人の学生が海外へ行きます。来日する学生は16人で、越谷南RCにもデンマークからアレックスがきます。

セミナー後半に行われた日本青少年交換アドバイザーで大阪にある高槻RCの近藤さんという方の話が非常に面白く、このクラブにも例会で卓話をお願いしたいと思いました。

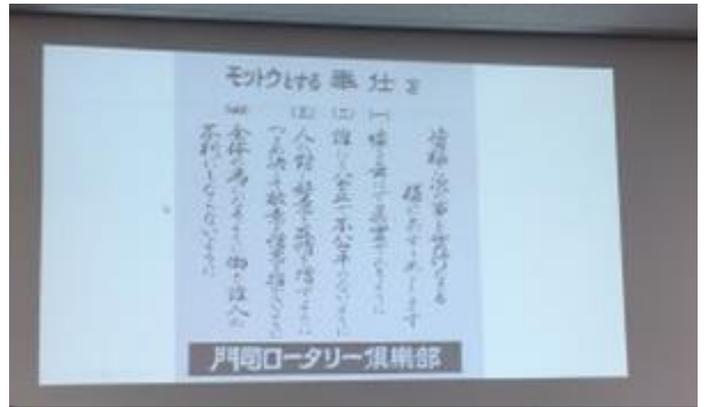
■奉仕プロジェクト部門：中村幹事

まず奉仕プロジェクト部門合同で共生社会をテーマとした基調講演が行われました。共生社会というとよく障害者と健常者の共生という範囲で話されますが、今回の講演では老若男女、LGBT、外国人といった幅広い範囲で語られていました。その中で大事だと思ったことが、「有用性を基準にして人を差別したり排除したりしない」「みんな違ってみんな一緒」という思想によって、全ての人間の教育権、生存権を保障するという考え方です。まさしくロータリアンとして持っておかなければいけない考え方だと思い、勉強になりました。

それを踏まえて、部門ごとに分かれてのセミナーとなり、私は職業奉仕セミナーへ参加しました。職業奉仕の考え方は今の社会では当たり前のような価値観ですが、今の世の中でも従業員が犠牲になるニュースがよく報道されたり、働き方改革という動きもあったりで、時代によってポイントが変わってきているなという感覚です。また、職業奉仕について私なりに整理できたことは、国際奉仕は他国への奉仕、社会奉仕は地域社会への奉仕、青少年奉仕は青少年への奉仕ということで分かりやすいですが、職業奉仕の場合は自分の職業に対する奉仕、自分の職業を活かした奉仕という2つの側面があるのだということが分かりました。

それと昔バージョンの四つのテストが面白かったので紹介

させていただきます。(下記画像)



【スマイル報告】

お陰様で
スマイル 24 件 29000 円
ありがとうございます。

【出席報告】

例 会 日	平成30年7月 26 日		
会 員 数	48名	出席	28名
出席免除者	8名	欠席	20名
出席率	60.9%	前々回MU	2名
MU修正率	60.9%	会報担当：小池	

【会報担当より一言】

今週は姉妹クラブの台中南区RCよりお客様がいらっしゃいました。

国際奉仕奥村委員長はじめ、小林副委員長、中島委員、濱野委員、ならびにホームステイの小林光蔵令夫人、中島頼光令夫人関係者各位に感謝します。

5日間のご対応、台中の子供たちのおもてなしお見送り、本当にありがとうございました。



